

体力向上に向けて - 学校における実践例集（第3集） -
の作成に当たって

本県が平成17年度に実施した新体力テストの結果をみると、児童生徒の体力・運動能力は、全国（平成16年結果）との比較で「同じか上回っている種目」の割合が51.5%となり、調査以来初めて50%を超え、「広島県スポーツ振興計画」に定めている、行動目標を達成することができました。

しかしながら、年齢別にみると、小学生・中学生が今なお全国平均を下回っております。種目別にみると、「反復横とび」「立ち幅跳び」など、日常生活では身に付きにくい、身体を大きく移動して行う種目が全国平均を下回っている傾向にあります。

さらに、生活アンケート調査の結果、「運動部やスポーツクラブへの所属」「運動やスポーツをする日数」「1日の運動時間」の項目が全国平均よりも下回っております。

このことから、体力・運動能力の向上のためには、十分な運動時間の確保と、しっかり体を動かすような運動の実践が、本県の大きな課題であることがわかりました。

県教育委員会としては、体力向上の取組みのひとつとして、平成16年度から、県内外で積極的に体力向上に取り組んでいる、小・中・高等学校の実践を冊子にまとめ、多くの方々に参考として御覧いただいております。

本冊子は、第1集・第2集に引き続き、体力向上に積極的に取り組んでいる県内外の学校の実践例を取りまとめたものです。

これらの実践例を参考として、各学校の実情に応じた取組みを進め、児童生徒の体力向上へ繋げていただきたいと思います。

今後も、学校における体力向上の取組みを実践例集としてとりまとめ、随時紹介してまいります。

終わりに、本冊子の編集に当たり、御協力いただきました各学校の皆様に深く感謝の意を表します。

平成18年5月

広島県教育委員会生涯学習部
スポーツ振興課長 出店信治